愛南圏域における「流域治水」の取り組み

愛南土木事務所大規模氾濫に関する減災対策協議会では、洪水、雨水出水、津波、高潮による被害を軽減するため、各種施設整備や住民の避難支援対策に取り組んできたところであるが、近年の気候変動の影響によるリスクの増大に備え、水災害からの"逃げ遅れゼロ"に加え、「愛」のある安心、安全なまちづくりを目指し、流域のあらゆる関係者が協働して多様な防災・減災対策を講ずる「流域治水」に取り組むこととする。

愛南圏域における流域治水の取組方針

- ①圏域治水対策連携強化プロジェクト・・・ 管内の全流域
- ●全流域において「流域治水」の考え方を取り入れながら、関係機関の連携による河川・流域での対策や緊急的な対応に加え、地域と一体となった防災・減災対策にも取り組む。
- ②流域治水プロジェクト ・・・ <u>水害リスクが高く、市街地を氾濫原として共有し、津波対策を連携して実施する流域(</u>僧都川水系・蓮乗寺川水系)
 - ●大規模氾濫等により、地域の住民生活や経済活動に甚大な被害の発生が懸念されることから、個別の流域治水プロジェクトを策定し、流域特性に応じた「流域治水対策」に取り組む。



愛南圏域 「流域治水」の主な取り組み

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ◎河川整備計画等に基づく、河川堤防嵩上げ、 耐震対策による津波対策の推進
- ◎海岸堤防嵩上げ及び水門整備による津波対策の推進
- ◎ダムの事前放流による容量確保 (洪水調節)
- ◎砂防・治山施設等の整備による土砂・流木の流出抑制
- ◎森林整備による水源涵養機能(洪水緩和機能)の向上

■ 被害対象を減少させるための対策

- ◎不動産取引時等における水害リスク情報の 提供
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ◎住民・地域・企業、まち全体で取り組む 減災対策
- ◎「逃げ遅れゼロ」に向けた避難体制の強化

【凡例】 ■ 水位観測所 ● 雨量観測所 ● 過去に土砂災害が発生した箇所 ■ 重要水防箇所 ■ 一型域界 ● 圏域界 ■ 常放浸水想定区域 ■ 高潮浸水想定区域 ■ 過去に浸水した区域 土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域 洪水浸水想定区域(L1) 洪水浸水想定区域(L2)

愛南圏域 治水対策連携強化プロジェクト

※「基盤地図情報」及び「国土数値情報」を背景に使用

僧都川.

蓮乗寺川水系

愛南圏域 治水対策連携強化プロジェクト 「対策内容」

【愛南町】 愛媛の南端!愛南圏域の文化・産業・暮らしを守る防災・減災対策の推進

流域全体において「流域治水」の考え方を取り入れながら、関係機関の連携による河川・流域での計画的なハード対策に加え、ダムの事前放流、 避難行動支援などのソフト対策に取り組み、地域と一体となった防災・減災対策を推進する。

- ①河川、海岸、砂防、治山等に関わる機関の連携強化(事業間連携など)による相乗効果を起こす。
- ②住民・地域・企業など地域全体が一体となって取り組む減災対策(ソフト対策)を推進し、まち全体の防災機能の強化を図る。

